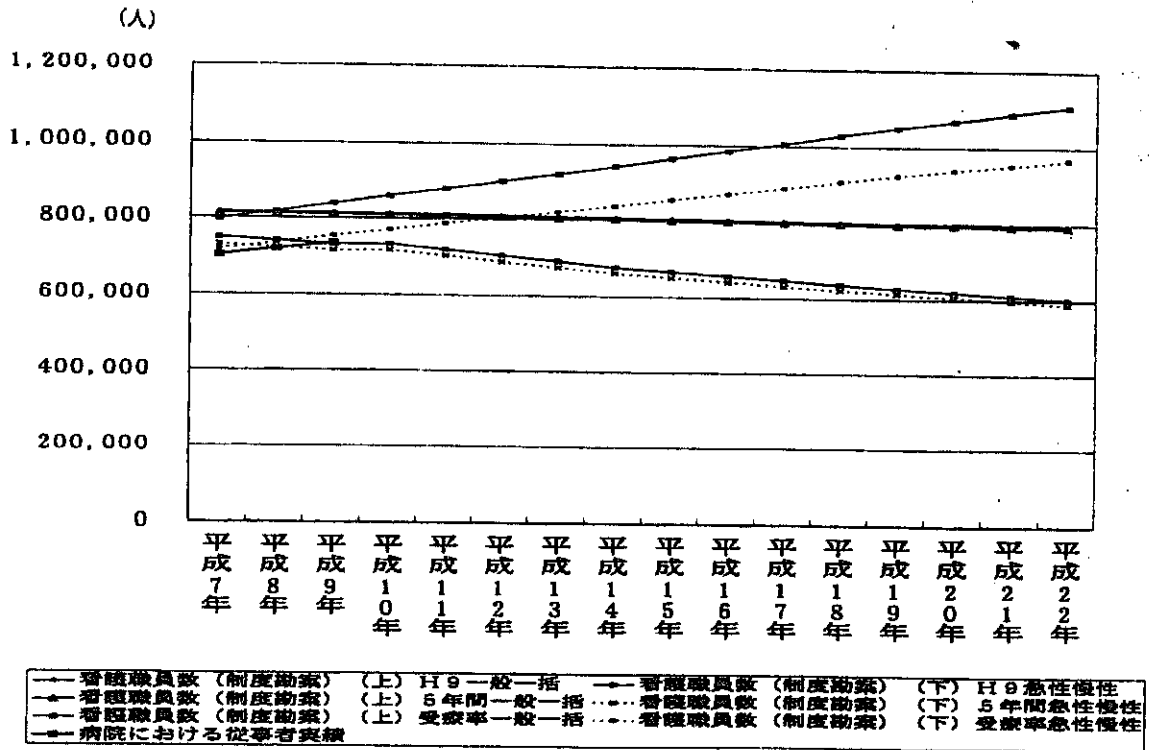


c) 処遇改善に要する増員分

上述の看護職員の処遇改善の目安に基づき、必要看護職員数 (B1～B12) についてそれぞれ増員分を含んだ必要看護職員数を推計した (C'1～C'12 前掲表9参照)。2000～2010年までの推計需要数の推移を (図7) に示す。推計方法により看護職員需要数には700千人程度の開きが生じることがわかる。

<図7> 必要看護職員数の推計結果



現状における入院患者対看護職員配置数は、現状で患者に対し投入されている看護サービスの量と、現状で達成されている看護職員の労働条件・処遇の両者の関数であると考えられる。現在までの入院患者対看護職員数の増加には、患者一人当たりの看護サービス投入量の増加と看護職員の労働条件・処遇の改善が共に反映されていると見られる。

したがって、将来の看護職員必要数の推計に当たり、従来の患者対看護職員数の伸びが継続すると仮定し、2010年時点で推計される患者対看護職員数をその時点での必要看護職員数とみなす場合、現時点から2010年までの看護職員増加には看護職員の処遇改善分のための増員がすでに含まれていると考えられる。一方、現時点での患者対看護職員数を前提に、2010年時点までに達成されるべき労働条件・処遇改善分の増員のみを考慮して必要看護職員数を推計する場合には、現在患者に投入されている看護サービス量が現在の水準以上には改善しないと見込んでいることを意味する。

<診療所>

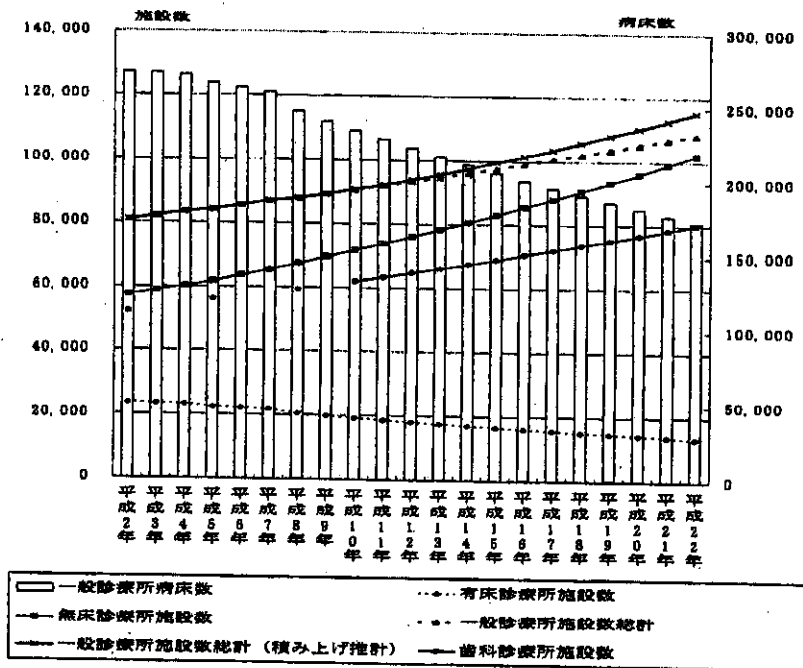
(1) 必要看護職員数の推計

1) 一般診療所

① 有床診療所

有床診療所の施設数については最近の減少傾向をふまえ、この傾向が今後も継続するものとして、最近5年間(93～97年)の動向により、2010年時点の施設数を13,281施設と推計する(図8)。

<図8> 診療所施設数(平成9年以降は予測値)



有床診療所については病床利用率が低いこと、および看護職員は病棟とそれ以外の部署とに区分されて配置されているわけではなく、院内全体の業務に携わる実態があるとみられるため、病床数および入院患者数から必要看護職員数を推計する手法は適切でない。したがって、施設当り平均看護職員数4.7人(96年の実績)により、2010年時点の必要看護職員数は約62千人と推計する。

② 無床診療所

無床診療所の施設数は最近の増加傾向を踏まえ、この傾向が今後も継続するものとして、最近5年間(93～97年)の動向により2010年時点の施設数を102,664施設と推計する。

無床診療所については、施設当り平均看護職員数1.8人(96年の実績)により、2010年時点の必要看護職員数は約185千人と推計する(表18)。

2) 歯科診療所

歯科診療所の施設数は最近の増加傾向を踏まえ、この傾向が今後も継続するものとして、最近5年間(93～97年)の動向により2010年時点の施設数を80,051施設と推計する(図8)。歯科診療所については、施設当り平均看護職員数0.02人(96年の実績)により、2010年時点の必要看護職員数は約2千人と推計する(表18)。

(2) 処遇改善等を考慮した必要看護職員数の推計

労働時間短縮に関しては、診療所の週当り平均診療日数5.2日(96年「医療施設調査」)が、労働基準法特例措置による法定労働時間(従事者数10人未満の保健衛生業について1週当り46時間)の将来の短縮により5.0日まで短縮、同時に完全週休二日制が普及するもの見込む。

育児休業ならびに介護休業の利用拡大については病院と同様と見込む。

その結果、有床診療所については2010年時点で約68千人、無床診療所については約208千人、歯科診療所については約2千人、計約277千人と推計する(表19)。

<表18> 診療所勤務看護職員数（平成10年以降は1施設当たり勤務者数実績（平成8年）に基づき推計）

	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
有床診療所看護職員数	31,460	35,799	42,609	48,522	54,263	61,566	68,609	74,792	81,210	88,210	95,148	102,148	109,148	116,148
無床診療所看護職員数	85,337	121,613	158,909	196,205	233,501	270,797	308,093	345,389	382,685	419,981	457,277	494,573	531,869	569,165
一歩診療所看護職員数(推計)	176,787	218,371	259,955	301,539	343,123	384,707	426,291	467,875	509,459	551,043	592,627	634,211	675,795	717,379
合計	393,584	475,783	561,473	650,046	738,671	827,296	915,921	1,004,546	1,093,171	1,181,796	1,270,421	1,359,046	1,447,671	1,536,296

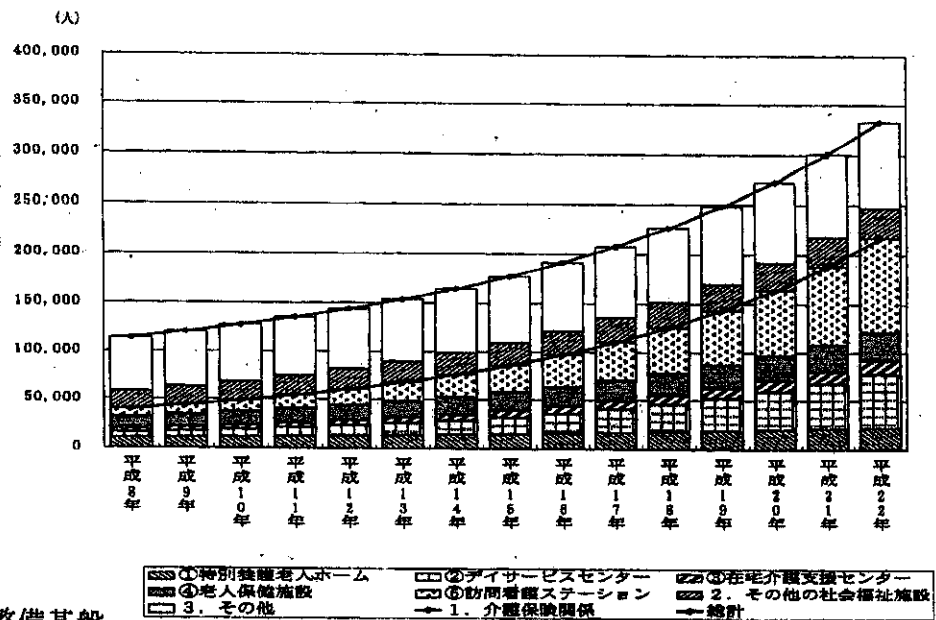
<表19> 診療所勤務看護職員数（表18の推計看護職員数に労働時間短縮等を勘案した必要数）

	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
有床診療所従事者	95,168	103,894	112,620	121,346	130,072	138,798	147,524	156,250	164,976	173,702	182,428	191,154	199,880	208,606
無床診療所従事者	96,250	137,165	178,080	218,995	259,910	300,825	341,740	382,655	423,570	464,485	505,400	546,315	587,230	628,145
従事者一歩診療所推計	194,438	241,059	287,680	334,301	380,922	427,543	474,164	520,785	567,406	614,027	660,648	707,269	753,890	800,511
合計	385,856	482,118	578,380	674,642	770,900	867,156	963,413	1,059,671	1,155,928	1,252,186	1,348,443	1,444,700	1,540,957	1,637,214

3. 介護保険関係における看護職員需要

介護保険関連施設における看護職員の需要について推計した。ここでは、老人保健審議会において資料として示された高齢者介護費用及び基盤整備量の将来推計の平成22年における、それぞれのサービスの整備目標で、必要な看護職員数を推計した。各施設の看護職員配置数は、現状での看護職員配置数の平均値を使った。推計にあたり、産前・産後休暇、育児休業、介護休業制度を考慮した（図9）。

<図9> 福祉施設等の必要看護職員数推計結果（処遇改善等勘案）



(1) 在宅介護の整備基盤

① デイサービス・デイケア

平成22年の設置目標数は、53,000 箇所である。デイサービスセンターにおける看護職員の配置は、平均各施設あたり 1.05 人であり、この配置基準で推計すると、55,676 人の看護職員が必要となる（表 20）。それに育児・介護休業を勘案すると 55,775 人（表 21）、また労働時間の短縮を考慮すると、60,487 人の需要が見込まれる（表 22）。

<表 20> 介護保険関連施設の整備目標数と必要人員

	整備目標		現在の施設数及び人員				必要人員
	入所者数の見直し	施設数	施設数	定員	従事者数	人員	
デイサービスセンター		53,000	4,793		5,035	1.05	55,676
訪問看護		20,000	2,048	2,048	11,709	4.30	86,000
在宅介護支援センター		13,000	2,814		2,984	1.06	13,785
特別養護老人ホーム	332,000		3,458	235,992	10,473	4.44	14,734
老人保健施設	288,000		1,517	132,346	13,647	10.30	29,675
ショートステイ	230,000		22	874	27	3.09	7,105
							199,870

注) 在宅介護支援センターの平成22年の目標数値は、平成12年の新GPの10,000カ所以上に65歳以上の人口の伸びで求めている。

注) 現在の施設数及び従事者数は最近の現状。

注) ショートステイは、特別養護老人ホーム、養護老人ホームに付設が多い。

<表 2 1 > 介護保険関連施設の必要看護職員数推計 (育児休業利用拡大勘案)

	1993年		1994年		1995年		1996年		1997年		1998年		1999年		2000年		2001年		2002年		2003年		2004年		2005年		2006年		2007年		2008年		2009年		2010年					
	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年	平成33年	平成34年	平成35年	平成36年	平成37年	平成38年	平成39年	平成40年				
1. 介護保険関係	11,177	20,885	15,889	39,622	43,804	48,580	54,050	60,334	67,571	75,928	85,602	95,827	109,880	125,090	142,848	163,616	187,946	216,491																						
①特別養護老人ホーム	8,329	8,997	9,615	10,490	11,045	11,640	12,268	12,929	13,626	14,360	15,134	15,950	16,809	17,715	18,670	19,676	20,737	21,854																						
②デイサービスセンター	2,848	3,489	4,178	5,039	5,992	7,102	8,432	10,011	11,886	14,112	16,755	19,892	23,618	28,040	33,291	39,526	46,927	55,715																						
③在宅介護支援センター	0	0	2,096	2,986	3,331	3,716	4,145	4,624	5,158	5,754	6,418	7,159	7,986	8,909	9,998	11,086	12,366	13,795																						
④老人保健施設	0	8,398	0	13,190	13,977	14,812	15,696	16,632	17,625	18,677	19,791	20,972	22,224	23,550	24,956	26,445	28,023	29,696																						
⑤訪問看護ステーション	0	0	0	7,927	9,468	11,310	13,510	16,137	19,276	23,025	27,503	32,853	39,243	46,875	55,993	66,883	79,892	95,431																						
2. その他の社会福祉施設	16,926	17,650	17,983	18,358	19,007	19,680	20,376	21,097	21,843	22,616	23,416	24,245	25,103	25,991	26,911	27,864	28,850	29,871																						
3. その他	0	65,602	0	55,659	57,111	58,664	60,321	62,086	63,964	65,958	68,074	70,318	72,695	75,211	77,875	80,692	83,672	86,822																						
統計	28,103	104,137	33,872	113,639	119,922	126,924	134,747	143,517	153,377	164,501	177,092	191,389	207,677	226,293	247,633	272,172	300,468	333,185																						

<表 2 2 > 介護保険関連施設の必要看護職員数推計 (表 2 1 にさらに介護休業利用拡大を勘案)

	平成5年		平成6年		平成7年		平成8年		平成9年		平成10年		平成11年		平成12年		平成13年		平成14年		平成15年		平成16年		平成17年		平成18年		平成19年		平成20年		平成21年		平成22年					
	1993年	1994年	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年				
D. 介護休業 1.0%	14,56%	14,56%	14,56%	15,10%	15,65%	16,19%	16,70%	17,23%	17,79%	18,30%	18,76%	19,10%	19,58%	20,16%	20,73%	21,25%	21,77%																							
高齢化率	0,073%	0,073%	0,073%	0,076%	0,078%	0,080%	0,084%	0,086%	0,089%	0,092%	0,094%	0,096%	0,098%	0,101%	0,104%	0,106%	0,109%																							
1. 介護保険関係	12,130	22,667	17,244	43,091	47,540	52,725	58,664	65,485	73,342	82,415	92,918	105,105	119,277	135,791	155,071	177,621	204,039	235,035																						
①特別養護老人ホーム	9,039	9,765	10,435	11,374	11,987	12,634	13,315	14,033	14,790	15,587	16,428	17,313	18,247	19,231	20,268	21,361	22,512	23,726																						
②デイサービスセンター	3,091	3,787	4,534	5,468	6,492	7,708	9,152	10,866	12,901	15,318	18,187	21,593	25,637	30,439	36,140	42,999	50,946	60,487																						
③在宅介護支援センター	0	0	2,275	3,241	3,615	4,033	4,499	5,019	5,598	6,245	6,967	7,772	8,669	9,671	10,788	12,035	13,425	14,976																						
④老人保健施設	0	9,114	0	14,315	15,170	16,075	17,035	18,062	19,130	20,272	21,483	22,766	24,125	25,565	27,091	28,709	30,423	32,239																						
⑤訪問看護ステーション	0	0	0	8,683	10,276	12,275	14,663	17,515	20,922	24,992	29,854	35,662	42,599	50,885	60,784	72,608	86,733	103,605																						
2. その他の社会福祉施設	18,370	19,156	19,516	19,924	20,628	21,359	22,115	22,898	23,708	24,548	25,417	26,317	27,249	28,214	29,214	30,249	31,320	32,430																						
3. その他	0	71,199	0	60,406	61,982	63,669	65,470	67,387	69,427	71,593	73,892	76,330	78,911	81,645	84,538	87,599	90,836	94,259																						
統計	30,501	113,022	36,761	123,331	130,151	137,753	146,248	155,770	166,477	178,556	192,228	207,752	225,438	245,469	268,822	295,469	326,196	361,774																						

② 在宅介護支援センター

現在、在宅介護支援センターは、新ゴールドプランにおける設置目標数 1.0 万個所に向けて、基盤整備がすすんでいるところである。平成 22 年の整備目標数を、新ゴールドプランの平成 12 年目標数 (1.0 万個所) をもとに、65 才以上の人口の伸び率で推計すると、平成 22 年は 13,000 個所となる (表 20)。

各センターに、1.06 人の看護職員配置を見込むと、13,785 人の看護職員が必要となる (表 21)。制度上の休業及労働時間の短縮を勘案すると、14,976 人の需要が見込まれる (表 22)。

③ 訪問看護ステーション

在宅ケア重視の介護保険の理念に合わせて、介護保険下での訪問看護ステーションの設置目標数 (平成 22 年) は、20,000 個所とされている。各ステーションあたりの看護職員数を 4.3 人とすれば、86,000 人の看護職員が必要となる (表 20)。今後、医療制度の改革や療養者の QOL の観点から、在宅医療の普及が予測され、要介護高齢者以外の利用者も、大幅に増加するものと考えられる。現状におけるステーション利用者をみると、老人保健法の対象者 (老人訪問看護事業) の他に、全利用者の 10.89% が健康保険法の対象者 (訪問看護事業) である (「訪問看護統計調査の概要」平成 7 年から 9 年の平均値)。従って、平成 22 年の介護保険対象者以外の健康保険法対象者のケアにあたるステーションは、20,000 個所の 10.89% にあたる 2,178 個所と推計される。1 ステーションあたりの看護職員数 4.3 人を乗じて、9,364 人の看護職の需要がみこまれる。介護保険におけるステーション目標数からの推計と健康保険利用者からの推計を加えれば、平成 22 年には、95,364 人の看護職員の需要が見込まれる (表 21)。制度上休業と労働時間の短縮を勘案すれば、103,605 人となる (表 22)。

訪問看護ステーションにおける 24 時間訪問看護システムは、必要性が言われながら、システムのあり方やサービス評価がされていない段階なので、今回の推計からは除外してある。したがって 24 時間訪問看護システムが確立すれば、推計数を上回る看護職員数の需要が見込まれる。

(2) 施設介護

① 特別養護老人ホーム

特別養護老人ホームの入所に関しては、今までの措置制度から保険制度によるサービスとなり、入所希望者が増加するものと考えられる。特別養護老人ホームの平成 22 年入所者の見込み数は、332,000 人である。入所者 100 人に対して、看護職員配置を 4.44 人とすれば、14,734 人の看護職員が必要となる (表 20)。またショートステイについてみれば、平成 22 年の利用者見込み数は、230,000 人であり、利用者 100 人に対して、看護職員 3.09 人の配置とすれば、7,105 人の看護職員が必要となる。特養入所者とショートステイ利用者から推計した数を合わせれば、必要看護職員数は 21,839 人となる (表 21)。制度上休業と労働時間の短縮を勘案すれば、22,497 人の看護職の需要が見込まれる (表 22)。

② 老人保健施設

施設と在宅を結ぶサービスとしての老人保健施設の役割は大きく、市町村における介護保険のサービス整備においても、老人保健施設の設置がすすめられている。平成22年の老人保健施設への入所については、288,000人の入所者を見込んでいる。看護職員配置を入所者100人に対して看護職員10.3人とすれば、29,675人の看護職員が必要となる(表21)。制度上の休暇・休業を勘案すれば、30,568人の需要が見込まれる(表22)。

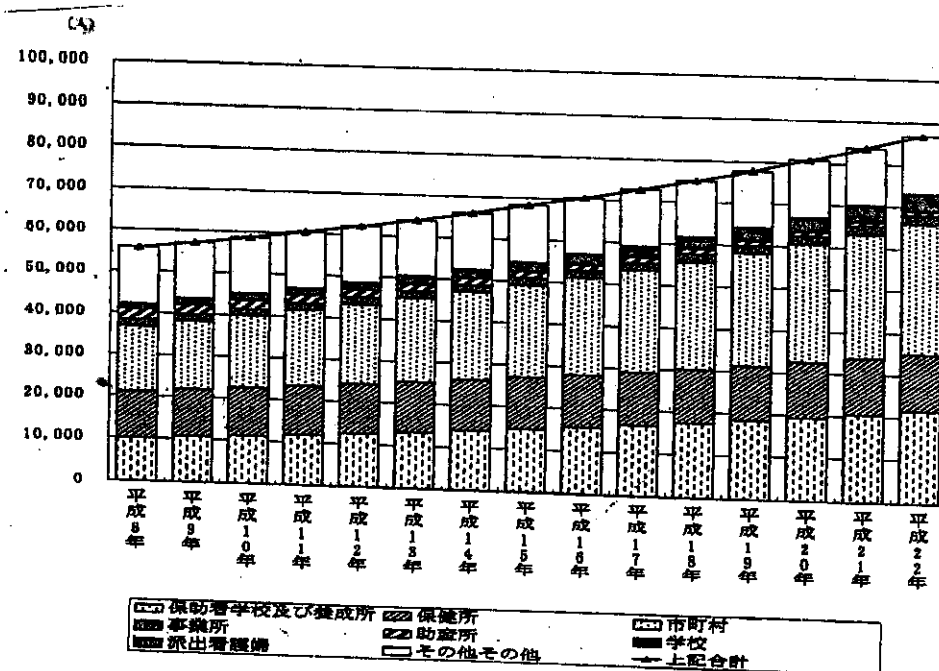
4. その他の領域における看護職員需要

その他の領域としては、次のものが上げられる。

- ①保健所、②市町村保健センター、③助産所、④看護婦等学校養成所(大学・短大を含む)、⑤社会福祉施設(介護保健関連を除く)、⑥事業所(労働安全衛生・産業保健分野)、⑦学校(学校保健分野)、⑧その他。

これらの領域については、各領域ごとに最近5年間(92～96年)の就業者数の増加状況の実績による対前年比増加率(平均)に基づき、今後も就業者数が増加するものとして2010年時点の必要看護職員数を推計、さらに労働時間短縮及び育児・介護休業の利用拡大による増員を見込み、最終的な必要看護職員数を約94千人と推計した(表23・図10)。

<図10> その他の領域における必要看護職員数の推計結果(処遇改善等勘案)



<表 23> その他の領域についての必要看護職員数の推計 (処遇改善等勘案)

	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
保助看学校及び養成所	10,894	11,506	12,152	12,836	13,556	14,317	15,121	15,970	16,867	17,815	18,815	19,872	20,988	22,167	23,412
保健所	12,079	12,248	12,419	12,592	12,768	12,947	13,128	13,311	13,497	13,686	13,877	14,071	14,267	14,467	14,669
市町村	16,987	17,836	18,728	19,664	20,648	21,680	22,764	23,903	25,098	26,353	27,671	29,054	30,507	32,033	33,635
事業所	1,602	1,646	1,691	1,737	1,785	1,834	1,885	1,936	1,989	2,044	2,100	2,158	2,217	2,278	2,340
助産所	2,757	2,536	2,333	2,146	1,974	1,815	1,670	1,536	1,412	1,299	1,195	1,099	1,011	930	855
学校	1,367	1,492	1,627	1,775	1,937	2,113	2,305	2,514	2,743	2,992	3,265	3,561	3,885	4,238	4,624
派出看護婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他その他	14,719	14,719	14,720	14,720	14,721	14,721	14,721	14,722	14,722	14,722	14,723	14,723	14,723	14,724	14,724
上記合計	60,406	61,982	63,669	65,470	67,387	69,427	71,593	73,892	76,330	78,911	81,645	84,538	87,589	90,836	94,259
チェック	60,406	61,982	63,669	65,470	67,387	69,427	71,593	73,892	76,330	78,911	81,645	84,538	87,589	90,836	94,259

5. 看護職員需要の推計結果

本研究においては、看護職員需要の最大の部分を占める病院における必要看護職員数について複数の方法により推計を行っているが、病院以外の就業分野の必要看護職員数の推計方法は単一のものとした。病院及びそれ以外の就業分野をあわせた看護職員需要総数は、病院における看護職員需要の推計パターンごとに算出される。

病院における看護職員需要の推計パターンごとの看護職員需要総数を2つの例について示す。

(表 24) は、病院における看護職員需要を「患者対看護職員配置を現状レベルに維持・一般病床を急性期・慢性期に区分し最近5年間の病床利用率で患者数を算出」した推計方法(表中「現状水準5年急性慢性」)で、他の領域における看護職員需要をあわせうえて労働時間短縮等を勘案し、2010年における看護職員需要総数を約1,278千人と推計した。この場合、病院における看護職員が看護職員需要総数に占める割合は50%である。

(表 25) は、病院における看護職員需要を「患者対看護職員配置が最近の伸び率により増加・一般病床を急性期・慢性期に区分・最近5年間の病床利用率で患者数を算出」した推計方法(表中「高水準5年間急性慢性」)で、他の領域における看護職員需要をあわせうえて労働時間短縮等を勘案し、2010年における看護職員需要総数を約1,582千人と推計した。この場合、病院における看護職員上が看護職員需要総数に占める割合は60%である。

<表2.4> 必要看護職員数推計結果

(病院における必要を「患者対看護職員配置を現状レベルに維持・一般病床を急性期・慢性期に区分し最近5年間の病床利用率で患者数を算出」した推計方法(表中「現状水準5年急性慢性」))

就業場所	平成8年度実数	主要資料(16)	比較資料	比較資料	就業場所	平成22年度 (育児、介護)	平成22年度 (労働時間1800h)	参考資料
○病院	719,891	病院報告	714,428	業務報告	○病院	588,811	638,566	現状水準5年急性慢性
○診療所合計	218,585	医療施設調査	174,898	業務報告	○診療所合計	255,679	277,293	
○有床診療所	95,799	医療施設調査			・有床診療所	62,320	67,586	
○無床診療所	121,613	医療施設調査			・無床診療所	191,710	207,910	
○歯科診療所	1,173	医療施設調査			・歯科診療所	1,648	1,787	
○老人保健施設	13,181	業務報告例	13,648	老健施設実態調査	○老人保健施設	29,728	32,239	介護目標
○訪問看護ステーション	7,291	業務報告例	6,017	訪問看護実態調査	○訪問看護ステーション	95,533	103,605	介護目標
○社会福祉施設	36,837	社会福祉施設調査	18,046	業務報告	○社会福祉施設	121,365	131,620	介護目標
・特養	10,473	社会福祉施設調査			・特養	21,878	23,726	介護目標
・ケア・センター	5,035	社会福祉施設調査			・ケア・センター	55,775	60,487	介護目標
・在宅介護支援センター	2,984	社会福祉施設調査			・在宅介護支援センター	13,809	14,976	介護目標
・その他社会福祉施設A	5,497	社会福祉施設調査			・その他社会福祉施設	29,903	32,430	過去の傾向
・その他社会福祉施設B	12,848	社会福祉施設調査						
○その他合計	55,621	業務報告例			○その他合計	86,915	94,259	過去の傾向
・その他(派出看護職員等)	13,553	業務報告例						
・養護所	10,032	業務報告例						
・保健所	11,122	業務報告例						
・市町村	15,641	業務報告例						
・事業所	1,475	業務報告例						
・助産所	2,539	業務報告例						
・学校	1,259	業務報告例						
総計	1,051,406					1,178,030	1,277,573	

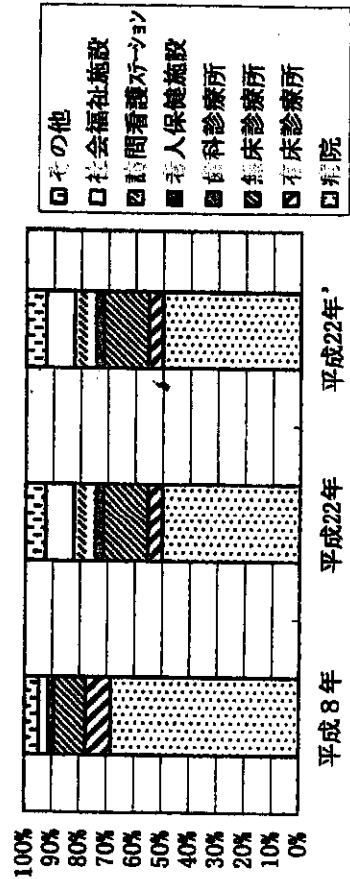
参考：F18看護職員推計

注：平成22年の特別養護老人ホームには、ショートステイの需要数を含む。

所属施設別看護職員数比率

	平成8年	平成22年	平成22年'
病院	68%	50%	50%
有床診療所	9%	5%	5%
無床診療所	12%	16%	16%
歯科診療所	0%	0%	0%
老人保健施設	1%	3%	3%
訪問看護ステーション	1%	8%	8%
社会福祉施設	4%	10%	10%
その他	5%	7%	7%
総計	100%	100%	100%

所属施設別看護職員数比率



<表25> 必要看護職員数推計結果

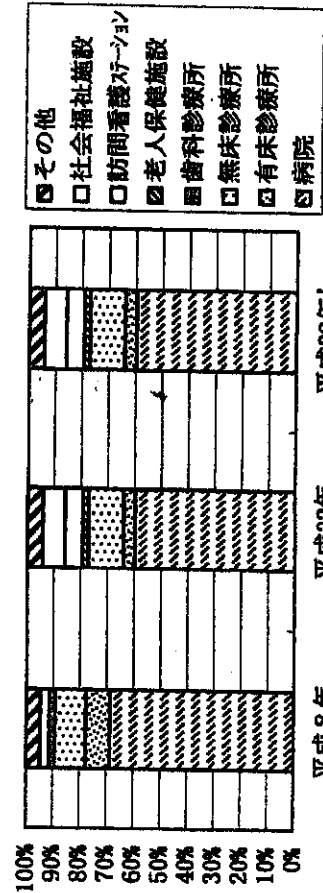
(病院における必要を「患者対看護職員配置が最近の伸び率が最近の伸び率により増加・一般病床を急性期・慢性期に区分・最近5年間の病床利用率で患者数を算出」した推計方法(表中「高水準5年間急性慢性」)

就業場所	平成8年度実数	主要資料(H8)	比較資料	就業場所	平成22年度 (育児、介護)	平成22年度 (労働時間1800h)	参考資料
○病院	719,891	病院報告	714,428	○病院	869,337	942,796	高水準5年間急性慢性
○診療所合計	218,585	医療施設調査	174,896	○診療所合計	255,679	277,283	
・有床診療所	95,799	医療施設調査		・有床診療所	62,320	67,586	
・無床診療所	121,613	医療施設調査		・無床診療所	191,710	207,910	
○老人保健施設	1,173	医療施設調査		○老人保健施設	1,648	1,787	
○訪問看護ステーション	13,181	業務報告	13,648	○訪問看護ステーション	29,728	32,239	介護目標
○社会福祉施設	7,291	業務報告	6,017	○社会福祉施設	95,533	103,605	介護目標
・特養	36,837	社会福祉施設調査	18,046	・特養	121,365	131,620	
・ケア・ハウス	10,473	社会福祉施設調査		・ケア・ハウス	21,878	23,726	介護目標
・在宅介護支援センター	5,035	社会福祉施設調査		・在宅介護支援センター	55,775	60,487	介護目標
・その他社会福祉施設A	2,984	社会福祉施設調査		・その他社会福祉施設A	13,809	14,976	介護目標
・その他社会福祉施設B	5,497	社会福祉施設調査		・その他社会福祉施設B	29,903	32,430	過去の傾向
○その他合計	12,848	社会福祉施設調査		○その他合計	86,915	94,259	過去の傾向
・その他(派出看護婦等)	55,621	業務報告					
・養成所	13,553	業務報告					
・保母所	10,032	業務報告					
・市町村	11,122	業務報告					
・事業所	15,641	業務報告					
・助産所	1,475	業務報告					
・学校	2,539	業務報告					
・学校	1,259	業務報告					
総計	1,051,406				1,458,555	1,581,803	

参考:H8看護職員推計
注:平成22年の特別養護老人ホームには、ショートステイの需要数を含む。

所屬施設別看護職員数比率

	平成8年	平成22年	平成22年'
病院	68%	60%	60%
有床診療所	9%	4%	4%
無床診療所	12%	13%	13%
歯科診療所	0%	0%	0%
老人保健施設	1%	2%	2%
訪問看護ステーション	1%	7%	7%
社会福祉施設	4%	8%	8%
その他	5%	6%	6%
総計	100%	100%	100%



V 看護職員の供給の将来推計

看護職員供給数の推計にあたっては、新規に学校・養成所等を卒業し看護職資格を得て就業する者(新卒就業者)の数、ならびに退職者数・および一旦退職し就業を中断していたが再就業した者の数を考慮することとする。また、各年末の就業者数をもって当該年次の供給数とすることとする。

なお、本研究においては職種(保健婦・助産婦・看護婦・准看護婦)ごとの供給の推計を行っておらず、この点については今後の課題である。

1. 新卒就業者数

1998年4月現在の各課程の養成数(1学年定員)は、看護婦3年課程33,740人(大学4,253人、短期大学5,200人を含む)、看護婦2年課程19,136人(短期大学580人を含む)、准看護婦課程29,121人(高校衛生看護科7,365人を含む)である。

看護婦3年課程養成数は1970年代から急増し、1学年定員は1970年の8199人から1995年には3万人を超えてはじめて准看護婦養成数を上回った。大学64校中62校は保健婦課程を、さらに34校は助産婦課程をあわせて開設しており、学生は4年間で看護婦3年課程と並行して保健婦課程を履修(助産婦課程の履修は学生の選択による)する。98年3月に看護系大学・学部を卒業した30大学・1,956人のうち、保健婦・士として就業した者は298人、以下助産婦49人、看護婦・士1,246人である。

新卒就業者数の推計にあたっては、以下の前提を置くこととする。

① 学校養成所等の定員

すでに入学済みの1999(平成11)年以前の入学者については入学時の定員とする。2000年以降は現時点で判明している2000(平成12)年の各課程別の養成定員が増減なく維持されるものとする(表1)。各課程別に見た場合、今後も専門専修学校から短期大学・大学への学校種別の変更があると見られるが、各課程の定員総数自体は不変であると仮定する。2000年までの各課程ごとの学校養成所数及び一学年定員を(表2)に示す。

<表1> 養成定員・卒業率・就職率の推計

<各課程総計>

	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	固定値	
入学時定員				80,471	81,404	83,206	84,681	84,667	84,215	83,157	83,433	84,304	84,304	84,304	84,304	84,304	84,304	84,304	84,304	84,304
入学時学生数	73,649	75,797	79,096	82,241	85,665	86,419	87,056	87,044	86,571	85,487	85,978	86,681	86,681	86,681	86,681	86,681	86,681	86,681	86,681	103%
卒業数	68,904	69,844	72,647	74,997	77,994	78,530	79,802	79,866	79,525	78,668	79,225	79,959	79,959	79,959	79,959	79,959	79,959	79,959	79,959	95%
看護職就職数	56,294	56,553	58,909	59,341	60,641	59,074	63,333	63,444	63,300	62,666	63,157	63,760	63,760	63,760	63,760	63,760	63,760	63,760	63,760	76%

1. 保健婦課程

	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	固定値	
〔保健婦〕短大<入学時定員>	295	355	365	385	465	540	655	715	715	715	715	715	715	715	715	715	715	715	715	
〔保健婦〕養成所<入学時定員>	1,700	1,660	1,660	1,682	1,605	1,525	1,655	1,685	1,670	1,670	1,670	1,670	1,670	1,670	1,670	1,670	1,670	1,670	1,670	
※〔保健婦〕計<入学時定員>	1,995	2,015	2,025	2,067	2,070	2,065	2,310	2,400	2,385	2,385	2,385	2,385	2,385	2,385	2,385	2,385	2,385	2,385	2,385	
入学時学生数	1,970	1,991	2,064	1,995	2,053	2,021	2,284	2,373	2,358	2,358	2,358	2,358	2,358	2,358	2,358	2,358	2,358	2,358	2,358	99%
卒業数	1,966	1,984	2,056	1,982	2,035	2,011	2,271	2,360	2,345	2,345	2,345	2,345	2,345	2,345	2,345	2,345	2,345	2,345	2,345	98%
看護職就職数	1,918	1,919	1,993	1,908	1,974	1,905	2,188	2,273	2,259	2,259	2,259	2,259	2,259	2,259	2,259	2,259	2,259	2,259	2,259	95%
保健婦就職数	1,339	1,349	1,394	1,352	1,407	1,377	1,540	1,600	1,590	1,590	1,590	1,590	1,590	1,590	1,590	1,590	1,590	1,590	1,590	67%

2. 助産婦課程

	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	固定値	
〔助産婦〕短大<入学時定員>	545	565	550	566	580	610	640	660	660	660	660	660	660	660	660	660	660	660	660	
〔助産婦〕養成所<入学時定員>	1,121	1,120	1,105	1,095	1,065	1,055	1,040	1,025	1,045	1,045	1,045	1,045	1,045	1,045	1,045	1,045	1,045	1,045	1,045	
※〔助産婦〕計<入学時定員>	1,666	1,685	1,655	1,661	1,645	1,665	1,680	1,685	1,705	1,705	1,705	1,705	1,705	1,705	1,705	1,705	1,705	1,705	1,705	
助産婦入学時学生数	1,543	1,534	1,549	1,568	1,578	1,568	1,576	1,581	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	94%
助産婦卒業者数	1,525	1,505	1,530	1,537	1,537	1,527	1,544	1,548	1,567	1,567	1,567	1,567	1,567	1,567	1,567	1,567	1,567	1,567	1,567	92%
看護職として就職	1,482	1,479	1,495	1,498	1,509	1,491	1,511	1,515	1,533	1,533	1,533	1,533	1,533	1,533	1,533	1,533	1,533	1,533	1,533	90%
助産婦として就職	1,351	1,335	1,381	1,353	1,393	1,252	1,357	1,361	1,378	1,378	1,378	1,378	1,378	1,378	1,378	1,378	1,378	1,378	1,378	81%

3. 看護婦3年課程(大学)

	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	固定値	
【3(4)年課程】大学<入学時定員>				768	1,198	1,778	2,448	2,838	3,328	4,253	5,125	5,800	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	
※【3(4)年課程】大学計<入学時定員>				768	1,198	1,778	2,448	2,838	3,328	4,253	5,125	5,800	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	
入学時学生数		539	556	788	1,258	1,852	2,549	2,955	3,465	4,428	5,335	6,039	6,039	6,039	6,039	6,039	6,039	6,039	6,039	1042
卒業数		545	605	812	1,327	1,956	2,564	3,039	3,622	4,629	5,578	6,312	6,312	6,312	6,312	6,312	6,312	6,312	6,312	1093
看護職就職数		543	468	482	807	1,246	2,189	2,537	2,975	3,802	4,582	5,186	5,186	5,186	5,186	5,186	5,186	5,186	5,186	892
看護婦以外就職数		331	363	155	266	377	1,670	1,936	2,270	2,901	3,495	3,956	3,956	3,956	3,956	3,956	3,956	3,956	3,956	682

4. 看護婦3年課程(短期大学)

	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	固定値	
【3年課程】短大<入学時定員>			4,470	4,520	4,580	5,040	5,270	5,410	5,200	4,940	4,600	4,700	4,700	4,700	4,700	4,700	4,700	4,700	4,700	
※【3年課程】短大計<入学時定員>			4,470	4,520	4,580	5,040	5,270	5,410	5,200	4,940	4,600	4,700	4,700	4,700	4,700	4,700	4,700	4,700	4,700	
入学時学生数	4,253	4,456	4,687	4,714	4,831	5,211	5,507	5,654	5,434	5,163	4,807	4,807	4,807	4,807	4,807	4,807	4,807	4,807	4,807	1053
卒業数	4,168	4,254	4,411	4,363	4,547	5,028	5,194	5,332	5,125	4,869	4,534	4,534	4,534	4,534	4,534	4,534	4,534	4,534	4,534	992
看護職就職数	3,000	3,137	3,221	3,138	3,230	3,453	3,696	3,794	3,647	3,464	3,226	3,226	3,226	3,226	3,226	3,226	3,226	3,226	3,226	702

5. 看護婦3年課程(養成所)

	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	固定値	
【3年課程】養成所<入学時定員>			20,072	21,447	22,314	23,424	24,071	23,957	24,287	23,909	23,849	23,849	23,849	23,849	23,849	23,849	23,849	23,849	23,849	
※【3年課程】養成所計<入学時定員>			20,072	21,447	22,314	23,424	24,071	23,957	24,287	23,909	23,849	23,849	23,849	23,849	23,849	23,849	23,849	23,849	23,849	
入学時学生数	17,348	18,381	20,040	21,744	23,165	24,284	24,595	24,479	24,816	24,430	24,368	24,368	24,368	24,368	24,368	24,368	24,368	24,368	24,368	1022
卒業数	16,531	17,595	18,990	20,390	21,360	22,197	22,878	22,769	23,083	22,724	22,667	22,667	22,667	22,667	22,667	22,667	22,667	22,667	22,667	952
看護職就職数	14,970	16,088	17,187	17,868	18,398	18,896	19,982	19,888	20,162	19,848	19,798	19,798	19,798	19,798	19,798	19,798	19,798	19,798	19,798	832

6. 看護婦 2 年課程 (短期大学)

	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	固定値	
〔2年課程〕短大<入学時定員>		780	780	680	640	640	630	580	610	570	570	570	570	570	570	570	570	570	570	
※〔2年課程〕短大計<入学時定員>		780	780	680	640	640	630	580	610	570	570	570	570	570	570	570	570	570	570	
入学時学生数		780	780	680	640	640	630	580	610	570	570	570	570	570	570	570	570	570	570	
卒業数	776	713	682	668	606	631	593	546	574	536	536	536	536	536	536	536	536	536	536	94%
看護職就職数	671	621	605	574	501	499	501	461	465	454	454	454	454	454	454	454	454	454	454	80%

7. 看護婦 2 年課程 (高等学校専攻科・養成所)

	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	固定値	
入学時定員数																				
〔2年課程〕高専<入学時定員>		1,895	2,210	2,290	2,310	2,435	2,475	2,635	2,715	2,755	2,755	2,755	2,755	2,755	2,755	2,755	2,755	2,755	2,755	
〔2年課程〕養成所<入学時定員>		15,216	15,653	15,967	16,076	16,156	16,126	15,921	15,494	14,819	14,819	14,819	14,819	14,819	14,819	14,819	14,819	14,819	14,819	
※〔2年課程〕計<入学時定員>		17,111	17,873	18,257	18,386	18,591	18,601	18,556	18,209	17,574	17,574	17,574	17,574	17,574	17,574	17,574	17,574	17,574	17,574	
看護婦 2 年入学時学生数	16,733	17,643	18,080	18,656	19,528	19,311	19,216	19,170	18,811	18,155	18,155	18,155	18,155	18,155	18,155	18,155	18,155	18,155	18,155	103%
看護婦 2 年卒業者数	15,536	16,355	16,749	17,054	17,532	17,249	17,516	17,474	17,147	16,549	16,549	16,549	16,549	16,549	16,549	16,549	16,549	16,549	16,549	94%
看護婦 2 年看護婦として就業	14,910	15,650	15,781	15,191	15,400	14,435	15,787	15,749	15,455	14,916	14,916	14,916	14,916	14,916	14,916	14,916	14,916	14,916	14,916	85%

8. 准看護婦課程

	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	固定値	
入学時定員数																				
〔准看護婦〕高等衛生<入学時定員>			7,606	7,565	7,601	7,482	7,485	7,485	7,365	7,255	7,255	7,255	7,255	7,255	7,255	7,255	7,255	7,255	7,255	
〔准看護婦〕養成所<入学時定員>		24,384	24,284	23,506	22,970	22,521	22,186	21,756	21,128	20,566	20,566	20,566	20,566	20,566	20,566	20,566	20,566	20,566	20,566	
※〔准看護婦〕計<入学時定員>			31,890	31,071	30,571	30,003	29,671	29,241	28,491	27,821	27,821	27,821	27,821	27,821	27,821	27,821	27,821	27,821	27,821	
入学時学生数	31,263	30,455	31,340	32,096	32,612	31,522	30,698	30,233	29,477	28,784	28,784	28,784	28,784	28,784	28,784	28,784	28,784	28,784	28,784	103%
卒業数	27,857	26,833	27,616	28,191	29,050	27,931	27,142	26,749	26,063	25,450	25,450	25,450	25,450	25,450	25,450	25,450	25,450	25,450	25,450	91%
看護婦就職数	18,800	17,191	18,145	18,648	18,822	17,149	17,479	17,226	16,784	16,389	16,389	16,389	16,389	16,389	16,389	16,389	16,389	16,389	16,389	59%

<表2> 看護婦等学校養成所の施設数及び定員の推移と今後の見込みと計画

	平成4年4月		平成5年4月		平成6年4月		平成7年4月		平成8年4月		平成9年4月		平成10年4月		平成11年4月		平成12年4月	
	学数	1学定員	学数	1学定員	学数	1学定員	学数	1学定員	学数	1学定員	学数	1学定員	学数	1学定員	学数	1学定員	学数	1学定員
保健婦	11	621	19	1,158	28	1,688	38	2,018	44	2,672	50	3,288	62	4,213	73	5,085	80	5,760
大学	11	295	13	355	13	365	13	385	15	465	17	540	21	655	22	715	22	715
短大	46	1,700	45	1,660	45	1,660	46	1,682	44	1,605	42	1,525	45	1,655	46	1,685	45	1,670
養成所	68	2,616	77	3,173	86	3,713	97	4,085	103	4,742	109	5,353	128	6,523	141	7,485	147	8,145
計	6	445	9	605	13	670	18	774	21	1,182	26	1,380	34	2,450	40	2,950	45	3,330
助産婦	29	545	30	565	30	550	30	566	31	580	33	610	35	640	37	660	37	660
大学	50	1,121	50	1,120	50	1,105	50	1,095	48	1,065	48	1,055	47	1,040	46	1,025	47	1,045
短大	85	2,111	89	2,290	93	2,325	98	2,435	101	2,827	107	3,045	116	4,130	123	4,635	129	5,035
養成所	14	768	21	1,198	30	1,778	40	2,448	46	2,838	52	3,328	64	4,253	75	5,125	82	5,800
計	60	4,470	60	4,520	60	4,580	66	5,040	71	5,270	72	5,410	73	5,200	71	4,940	61	4,600
3年課程	426	20,072	447	21,447	461	22,314	485	23,424	490	24,071	496	23,957	503	24,287	507	23,909	486	23,849
2年課程	500	25,310	528	27,165	551	28,672	591	30,912	607	32,179	620	32,695	640	33,740	653	33,974	629	34,249
短大	15	780	15	780	14	680	14	640	13	640	13	630	13	580	12	610	10	570
高専	44	1,895	47	2,210	49	2,290	50	2,310	52	2,435	53	2,475	55	2,635	57	2,715	58	2,755
養成所	361	15,216	370	15,663	371	15,967	373	16,076	376	16,156	377	16,126	375	15,921	363	15,494	331	14,819
計	420	17,891	432	18,653	434	18,937	437	19,026	441	19,231	443	19,231	443	19,136	432	18,819	399	18,144
看護婦計	920	43,201	960	45,818	985	47,609	1,028	49,838	1,048	51,410	1,063	51,926	1,083	52,876	1,085	52,793	1,028	52,393
准看護婦	134	7,606	132	7,565	131	7,601	131	7,482	130	7,485	131	7,485	131	7,365	132	7,255	128	7,255
看護婦計	478	24,384	471	24,284	461	23,506	456	22,970	443	22,521	439	22,186	426	21,756	415	21,126	391	20,821
養成所計	612	31,990	603	31,849	592	31,107	587	30,452	573	30,006	570	29,671	557	29,121	547	28,381	519	27,821
合計	1,685	79,918	1,729	83,130	1,756	84,754	1,810	86,910	1,825	88,985	1,849	89,985	1,884	92,650	1,896	93,294	1,823	93,394

注) 平成4年から10年までは看護関係統計資料集より。

平成11年と12年は今後の見込みと計画であるので変更があり得る。

平成4年から11年までの施設数には募集中止施設が含まれているが、平成12年は募集中止の施設数は除いてある。

② 卒業率

各養成課程の入学時定員に対する卒業者の比率を「卒業率」とする。各課程ごとの「卒業率」については最近5年間(94～98年)の平均によるものとする。看護系大学の保健婦課程定員数ならびに助産婦課程定員数については、保健婦課程・助産婦課程に重複計上されているため、保健婦課程・助産婦課程の定員数ならびに卒業者数から減じて推計を行った。卒業者には途中編入者を含むものとする。

各課程ごとの卒業率は以下のとおりとする(表1)。

保健婦課程：98%

助産婦課程：92%

看護婦3年課程：95%

看護婦2年課程：94%

准看護婦課程：91%

③ 就職率

各養成課程の入学時定員に対する看護職として就業した者の比率を「就職率」とする。各課程ごとの「就職率」については最近5年間(94～98年)の平均によるものとする。保健婦・助産婦課程卒業者については、保健婦・助産婦としてではなく看護婦として就業した者をも含め「就職率」を算出した。

各課程ごとの就職率は以下のとおりとする(表1)。

保健婦課程：95%

助産婦課程：90%

看護婦3年課程：83%

看護婦2年課程：85%

准看護婦課程：59%

なお、2000年以降の入学者について各課程ごとの定員ならびに卒業率・就職率を固定するため、各課程を卒業し看護職として就業する者(新卒就業者数)は、保健婦課程(2001年卒業以降)1,590名、助産婦課程(2001年卒業以降)1,378名、看護婦3年課程(2003年卒業以降)19,798名、看護婦2年課程(2002年卒業以降)14,916名、准看護婦課程(2002年卒業以降)16,389名、年間計約54千人と見込まれる。

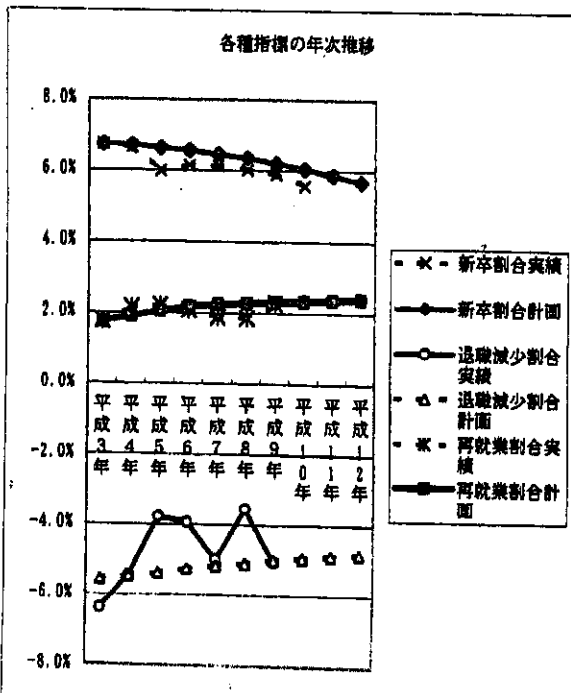
2. 退職者数及び再就業者数

供給数、すなわち各年末の就業者数の推計にあたっては、退職による減員と再就業による増員を勘案した現職就業者数の増減を見込む必要がある。退職者数及び再就業者数の推計にあたっては、次の2つの方法を取ることにする。

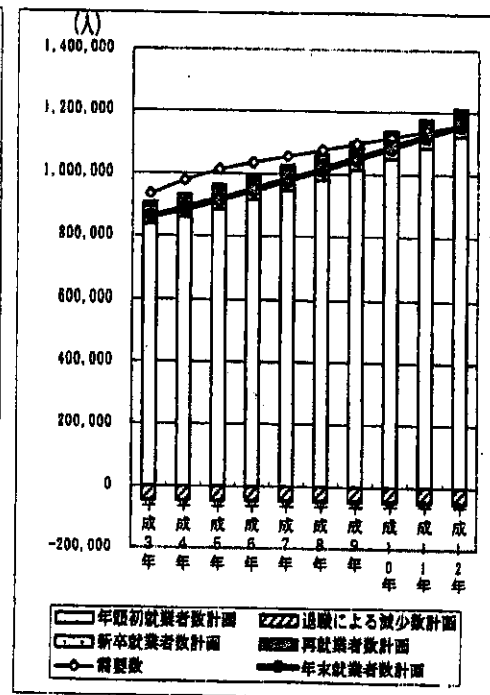
①「厚生省看護職員需給見通し」による推計方法

厚生省健康政策局看護課による看護職員需給見通し(平成3年12月)により、91(平成3)年から2000(平成12)年の間について当「見通し」が設定していた「再就業者数」ならびに「退職による減少数」看護職員需給見通しから見た再就職率・退職率をもとに、年間の現職就業者数の減少分を推計する。当「見通し」における各年次の「再就業者数」ならびに「退職による減少数」が、当該年次の「年当初就業者数」に対し何%を占めるかを算出し、さらに91(平成3)年から2000(平成12)年の間について平均値を算出した。その結果、「年当初就業者数」に対する「再就業者数」は平均2.3%、「退職による減少数」は、マイナス4.9%で、現職就業者の減少数は年当初就業者数の2.6%と見込まれる(表3・図1・図2)。

<図1> 厚生省「平成3年看護職員需給見通し」分析による各種指標の年次推移



<図2> 厚生省「平成3年看護職員需給見通し」



<表3> 厚生省「平成3年看護職員需給見通し」分析による各種指標の年次推移

年次	需要数	年頭初就業者数計画	新卒就業者数計画	再就業者数計画	退職による減少数計画	年末就業者数計画	新卒割合計画	再就業割合計画	退職減少割合計画	年末割合計画	需要年次割合計画
平成3年	932,000	834,000	56,100	14,500	-46,400	858,000	6.7%	1.7%	-5.6%	102.9%	92.1%
平成4年	976,000	858,000	57,500	16,200	-47,000	885,000	6.7%	1.9%	-5.5%	103.1%	90.7%
平成5年	1,012,000	885,000	58,600	18,200	-47,600	914,000	6.6%	2.1%	-5.4%	103.3%	90.3%
平成6年	1,034,000	914,000	59,900	19,800	-48,000	946,000	6.6%	2.2%	-5.3%	103.5%	91.5%
平成7年	1,055,000	946,000	60,900	21,100	-48,900	979,000	6.4%	2.2%	-5.2%	103.5%	92.8%
平成8年	1,076,000	979,000	62,100	22,200	-49,900	1,014,000	6.3%	2.3%	-5.1%	103.6%	94.2%
平成9年	1,096,000	1,014,000	62,900	23,400	-50,600	1,049,000	6.2%	2.3%	-5.0%	103.5%	95.7%
平成10年	1,117,000	1,049,000	63,400	24,500	-51,800	1,086,000	6.0%	2.3%	-4.9%	103.5%	97.2%
平成11年	1,138,000	1,086,000	63,700	25,700	-52,900	1,122,000	5.9%	2.4%	-4.9%	103.3%	98.6%
平成12年	1,159,000	1,122,000	63,800	27,000	-54,100	1,159,000	5.7%	2.4%	-4.8%	103.3%	100.0%
	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	=E/D	=F/D	=G/D	=H/D	=H/C
						5年間	6.0%	2.3%	-4.9%	103.4%	97.2%

(注) 差引=実績-計画

新卒就業者数は、看護関係統計資料集の新卒就業者数

再就業者数は、ナースバンク事業の就業者数

年末就業者数は、病院報告、厚生省報告例及び一部推計

②年末就業者・新卒就業者実績より現職就業者の減少数を推計する方法

年間の現職就業者の減数は、「再就業者数」-「退職による減少数」で表される。上記の「看護職員需給見通し」においては「再就業者数」を各都道府県委託事業であるナースバンク事業の実績をもとに推計しているが、実際の看護職員の職場移動は公共職業安定所をはじめとする多様な経路によって行われており、ナースバンクを通じての再就業はそのごく一部に過ぎない。また、「退職による減少数」についても退職後期間を置かない再就業の例についてはこれを「退職による減少」とみなすことは適切ではないとの指摘もある。

したがって、「再就業者数」と「退職による減少数」の定義ならびに正確な把握を回避し、前年末就業者数に新卒就業者数を加え、その上で年末就業者数を減じた数をもって、当該年次の「現職就業者の減少」数とみなすこととする。前年末就業者数に対する当該年次の「現職就業者数の減少」の比率を最近5年間(94～98年)について平均し、2.2%と見込む(表4)。

3. 年末就業者数の推計

上記①については次の算出式により年末就業者数(供給数)を算出する。

年当初就業者数+新卒就業者数+再就業者数-退職による減少数=年末就業者数

その結果、2010年時点の供給数は約1,463千人と推計される(表5)。

上記②については次の算出式により年末就業者数(供給数)を算出する。

前年末就業者数+新卒就業者数-現職就業者数の減少数=年末就業者数

その結果、2010年時点の供給数は約1,518千人と推計される(表4)。

<表 4 > 看護職員供給数の推計（年末就業者・新卒就業者実績より現職就業者の減少数を推計する方法）

年次	1993年	1994年	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
年次	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
現年現在看護職員数 (A)	61,751	60,315	59,471	58,744	58,532	58,274	58,043	57,814	57,585	57,356	57,127	56,898	56,669	56,440	56,211	55,982	55,753	55,524
年次	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
看護職員数 (B)	64,407	63,294	62,181	61,068	60,005	58,892	57,779	56,666	55,553	54,440	53,327	52,214	51,101	50,000	48,887	47,774	46,661	45,548
新規卒業者を募集した看護職員数 (B/A)	913,136	915,310	917,484	919,658	921,832	924,006	926,180	928,354	930,528	932,702	934,876	937,050	939,224	941,398	943,572	945,746	947,920	950,094
年次	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
差引増減数 (結果との差) (E-B-S)	-1,220	-14,019	-17,240	-20,071	-21,652	-23,513	-24,815	-26,530	-28,481	-30,666	-32,851	-35,036	-37,221	-39,406	-41,591	-43,776	-45,961	-48,146
年次	平成6年末	平成7年末	平成8年末	平成9年末	平成10年末	平成11年末	平成12年末	平成13年末	平成14年末	平成15年末	平成16年末	平成17年末	平成18年末	平成19年末	平成20年末	平成21年末	平成22年末	
総数 (E)	800,316	922,471	961,744	990,582	1,009,033	1,026,284	1,043,782	1,060,606	1,077,516	1,094,021	1,110,526	1,127,031	1,143,536	1,160,041	1,176,546	1,193,051	1,209,556	1,226,061
	-1.7%	-1.6%	-1.3%	-1.1%	-1.0%	-0.9%	-0.8%	-0.7%	-0.6%	-0.5%	-0.4%	-0.3%	-0.2%	-0.1%	0.0%	0.1%	0.2%	0.3%
	-4.1%	-3.7%	-3.1%	-2.6%	-2.1%	-1.6%	-1.1%	-0.6%	-0.1%	0.4%	0.9%	1.4%	1.9%	2.4%	2.9%	3.4%	3.9%	4.4%

<表 5 > 看護職員供給数の推計（「厚生省看護職員需給見通し」による再就職率・離職率予測値を用いる推計方法）

年次	1993年	1994年	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
年次	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
現年現在看護職員数 (A)	61,751	60,315	59,471	58,744	58,532	58,274	58,043	57,814	57,585	57,356	57,127	56,898	56,669	56,440	56,211	55,982	55,753	55,524
年次	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
看護職員数 (B)	64,407	63,294	62,181	61,068	60,005	58,892	57,779	56,666	55,553	54,440	53,327	52,214	51,101	50,000	48,887	47,774	46,661	45,548
新規卒業者を募集した看護職員数 (B/A)	913,136	915,310	917,484	919,658	921,832	924,006	926,180	928,354	930,528	932,702	934,876	937,050	939,224	941,398	943,572	945,746	947,920	950,094
年次	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
再就職率 (C)	2.3%	2.3%	2.3%	2.3%	2.3%	2.3%	2.3%	2.3%	2.3%	2.3%	2.3%	2.3%	2.3%	2.3%	2.3%	2.3%	2.3%	2.3%
再就職率 (A/C)	19,598	20,245	21,217	22,120	23,783	24,541	25,262	26,062	26,844	27,602	28,335	29,041	29,723	30,446	31,121	31,778	32,418	33,042
再就職率を募集した看護職員数 (CS)	39,728	36,755	36,877	37,072	37,590	38,048	38,526	39,024	39,542	40,080	40,638	41,216	41,814	42,432	43,080	43,758	44,466	45,204
年次	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
看護職員数 (D)	4,331	4,331	4,331	4,331	4,331	4,331	4,331	4,331	4,331	4,331	4,331	4,331	4,331	4,331	4,331	4,331	4,331	4,331
総数 (A+D)	66,082	64,646	63,802	63,075	62,607	62,607	62,375	62,483	62,517	62,679	62,859	63,041	63,236	63,446	63,671	63,916	64,179	64,451
再就職率を募集した看護職員数 (DS)	89,911	913,024	915,040	916,640	918,171	919,723	921,295	922,887	924,499	926,132	927,795	929,487	931,209	932,961	934,743	936,555	938,397	940,269
(C) + (D)	-2.0%	-2.0%	-2.0%	-2.0%	-2.0%	-2.0%	-2.0%	-2.0%	-2.0%	-2.0%	-2.0%	-2.0%	-2.0%	-2.0%	-2.0%	-2.0%	-2.0%	-2.0%
(B) + (C) + (D)	4.3%	3.0%	3.3%	3.6%	3.9%	4.2%	4.5%	4.8%	5.1%	5.4%	5.7%	6.0%	6.3%	6.6%	6.9%	7.2%	7.5%	7.8%
増減数	30,257	33,468	33,510	33,777	34,381	34,776	35,193	35,633	36,095	36,581	37,091	37,624	38,179	38,756	39,356	39,989	40,646	41,327
年次	平成5年末	平成6年末	平成7年末	平成8年末	平成9年末	平成10年末	平成11年末	平成12年末	平成13年末	平成14年末	平成15年末	平成16年末	平成17年末	平成18年末	平成19年末	平成20年末	平成21年末	平成22年末
総数 (E)	800,316	922,471	961,744	990,582	1,009,033	1,026,284	1,043,782	1,060,606	1,077,516	1,094,021	1,110,526	1,127,031	1,143,536	1,160,041	1,176,546	1,193,051	1,209,556	1,226,061